

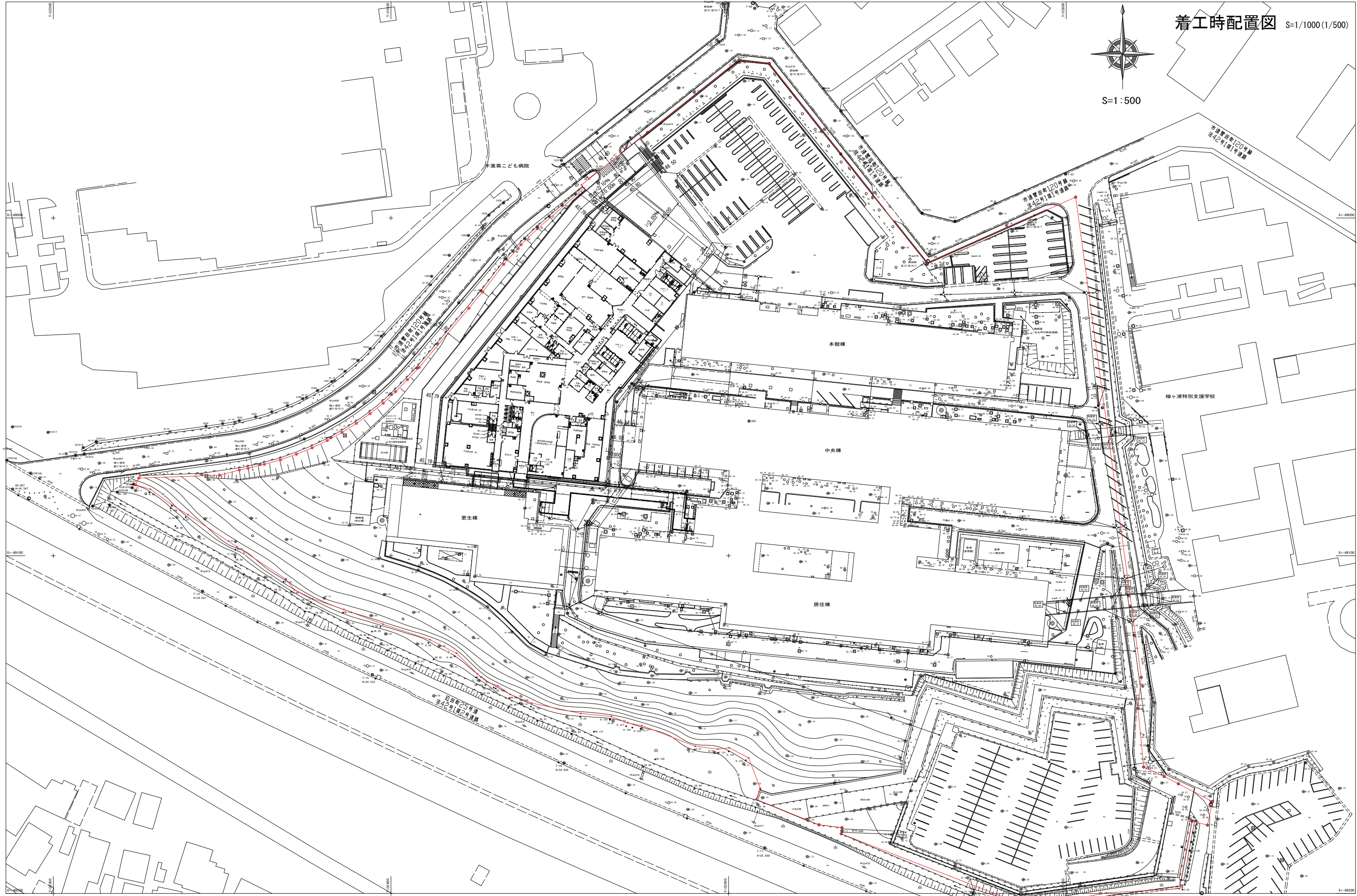
# STEP1-5 部分解体工事

## A1-5

令和5年3月



株式会社 山下設計  
YAMASHITA SEKKEI INC.  
ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS



着工時配置図 S=1/1000(1/500)

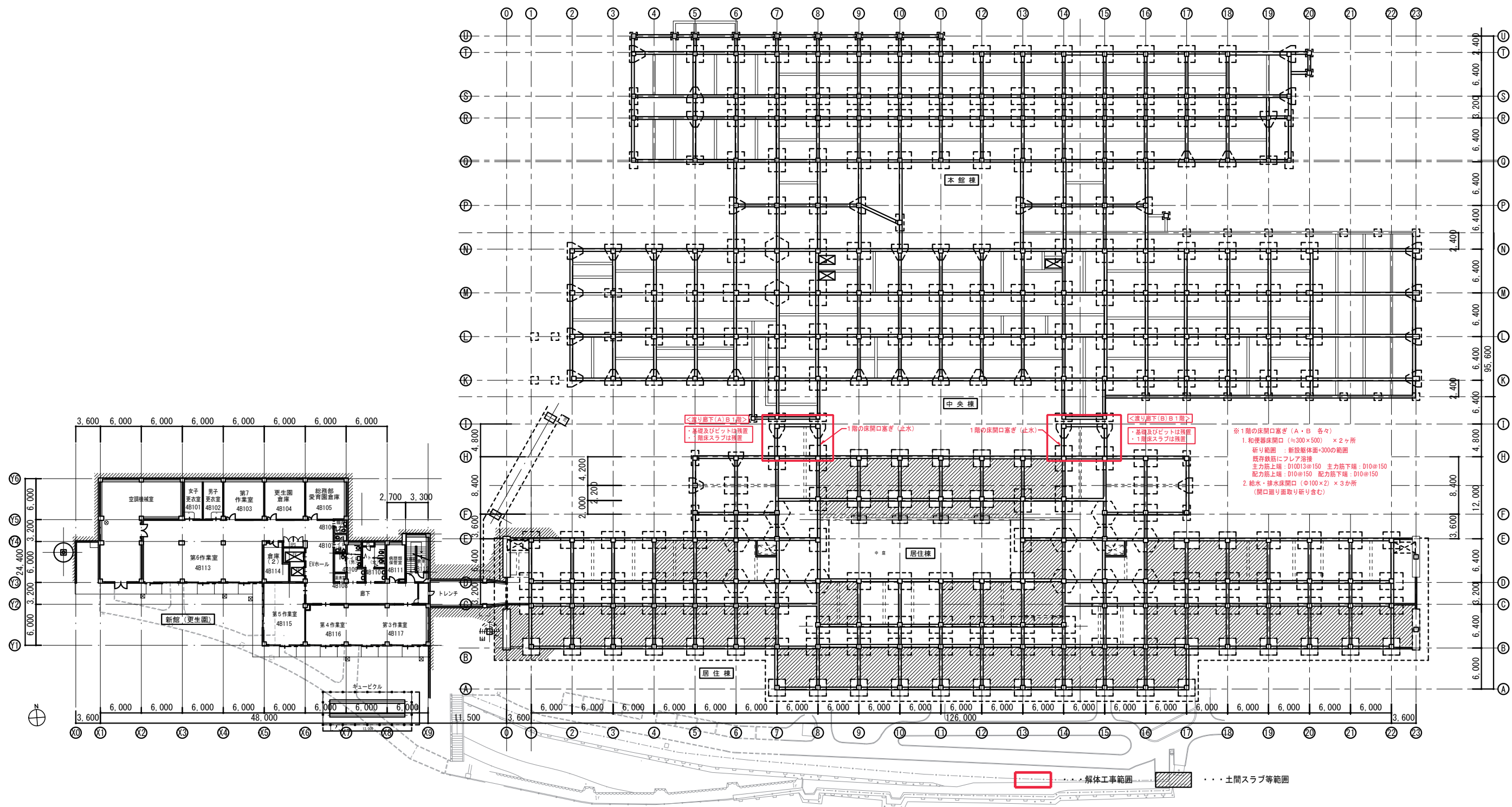
S=1:500

資格/番号	記名	捺印	製 図	検 図	納品検査	訂正
一級建築士 第249530号	柴田 浩		古川 2023. 3. 12	宮本 2023. 3. 14	大植 2023. 3. 14	
一級建築士 第337950号	堀江 伸		兼松 2023. 3. 12			

特記

図面内容
既存渡り廊下部分解体工事 着工時配置図
縮尺 A1:1/500 A3:1/1000

図面番号
A1-5-001
区分 建築意匠図





[illegible]

 ... 解体工事範囲
  ... 解体撤去部分

A-1・2、B-1・2 : LGS地下 GB-D 12.5 + GB-R 9.5 (片面)  
(GW ボード 24K t=50 内張り)  
A-3・4、B-3・4 : 仮設足場 + 防音パネル

躯体切断部処理 : 樹脂モルタル成形補修仕上げ (t=30)  
鉄筋切断部処理 : 錆止め塗装補修

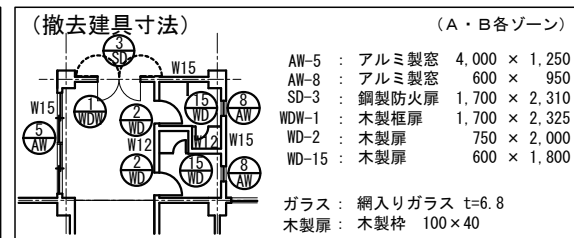
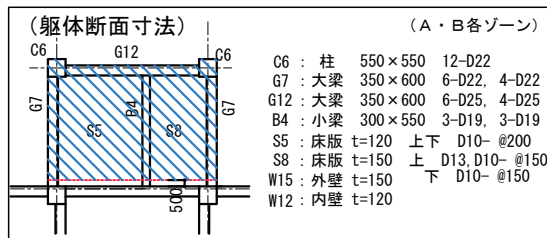




--- 解体工事範囲 --- 解体撤去部分

(2階)  
C6 : フープ □-D13@100  
G7 : スターラップ □-D13@200  
G12 : スターラップ □-D13@200  
B4 : スターラップ □-D10@200

W15 : 縦・横 D10@200 シングル  
W12 : 縦・横 D10@200 シングル



(アスベスト含有・含有懸念建材) (A・B各ゾーン)

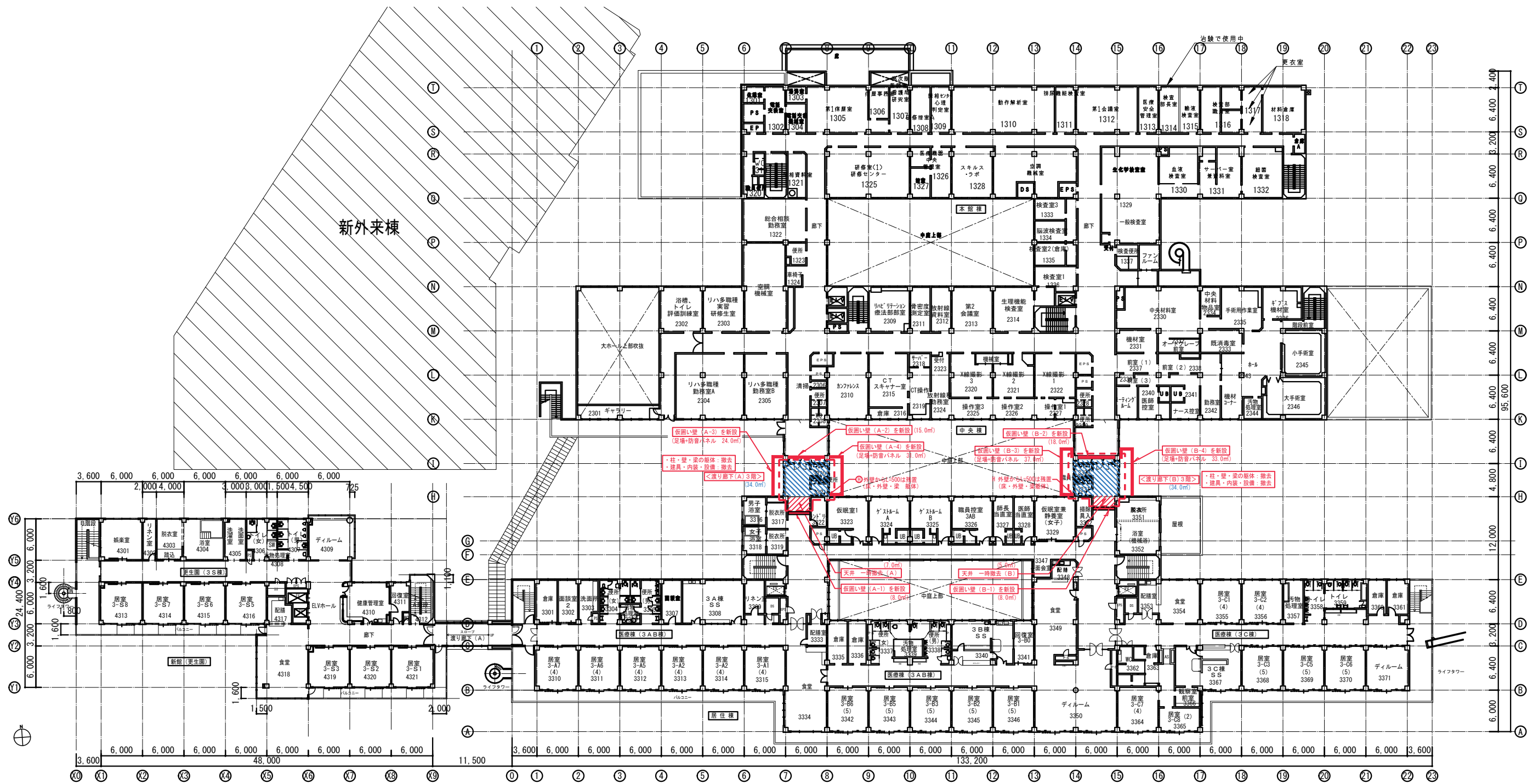
斜路 : (床) 長尺塩ビシート t=3.5 (※2 : 18.0㎡)  
(巾木) ソフト巾木 H=70 (※2 : 10.0㎡)  
(天井) 岩綿吸音板 t=12 (※1 : 18.0㎡)  
便所 : (床) 長尺塩ビシート t=2.0 (※2 : 10.0㎡)  
(巾木) ソフト巾木 H=70 (※2 : 2.0㎡)  
(天井) ケイ酸カルシウム板 t=6 (※2 : 10.0㎡)  
廊下 : (天井) 岩綿吸音板 t=12 (※2 : 図示)

(※1 : アスベスト含有建材) (※2 : アスベスト含有懸念建材)  
・上記建材の撤去は、飛散防止養生又は隔離養生の上撤去を行うこと

(解体工事前仮設壁 他) (A・B各ゾーン)

A-1・2、B-1・2 : LGS地下 GB-D 12.5 + GB-R 9.5 (片面)  
(GW ボード 24K t=50 内張り)  
A-3・4、B-3・4 : 仮設足場 + 防音パネル

躯体切断部処理 : 樹脂モルタル成形補修仕上げ(t=30)  
鉄筋切断部処理 : 錆止め塗装補修



---解体工事範囲 ---解体撤去部分

(3階)  
C6 : フープ □-D10@200  
G7 : スタラップ □-D13@200  
G12 : スタラップ □-D10@200  
B4 : スタラップ □-D10@200  
  
W15 : 縦・横 D10@200 シングル  
W12 : 縦・横 D10@200 シングル

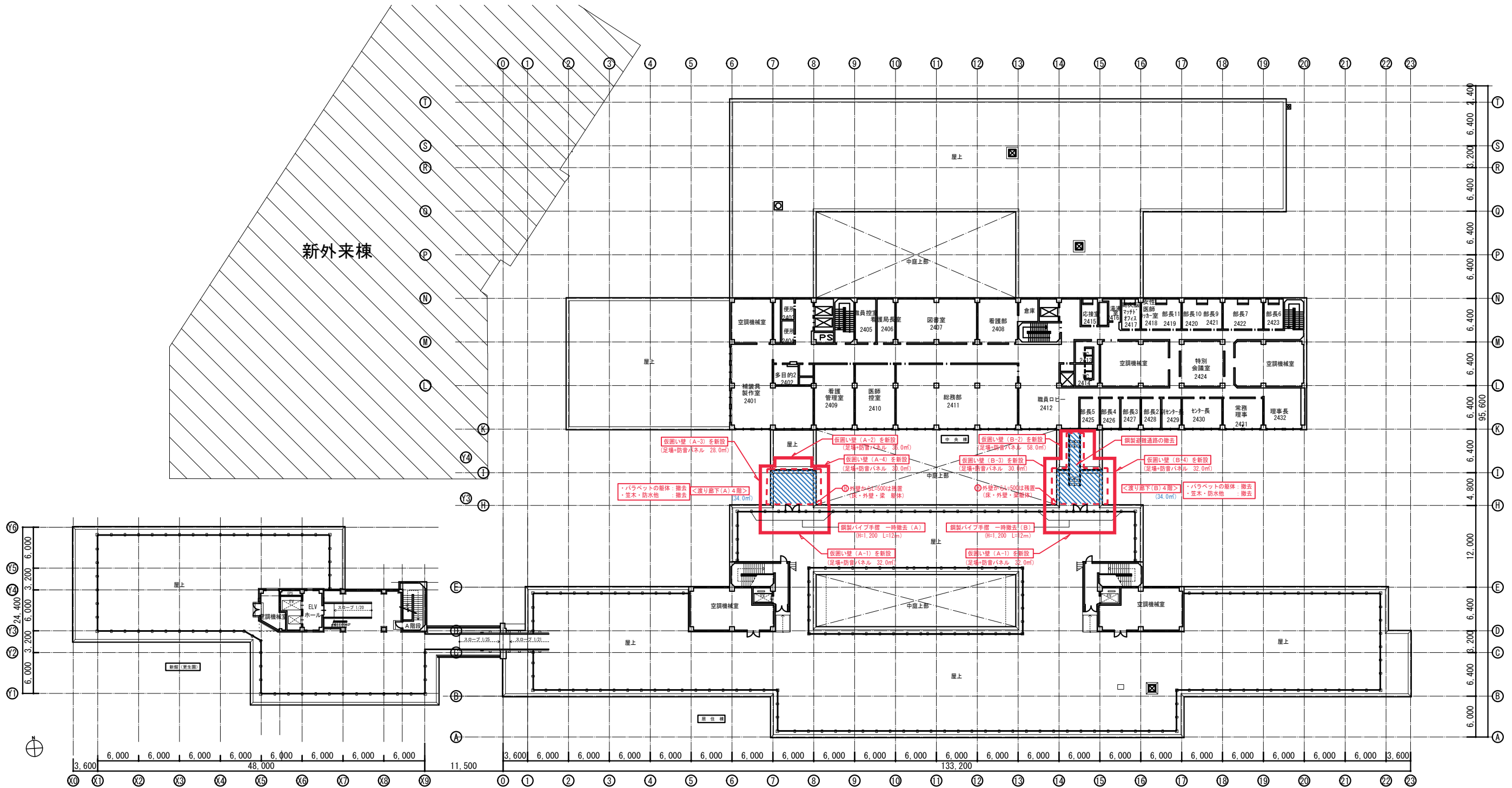
(躯体断面寸法)		(A・B各ゾーン)	
	C6	柱	550×550 12-D22
	G7	大梁	350×600 6-D22, 4-D22
	G12	大梁	350×600 6-D25, 4-D25
	B4	小梁	300×550 3-D19, 3-D19
	S5	床版	t=120 上下 D10-@200
	S8	床版	t=150 上 D13, D10-@150
	W15	外壁	t=150 下 D10-@150
	W12	内壁	t=120

(撤去建具寸法)		(A・B各ゾーン)	
	AW-5	アルミ製窓	4,000×1,250
	AW-8	アルミ製窓	600×950
	SD-3	鋼製防火扉	1,700×2,310
	WDW-1	木製扉	1,700×2,325
	WD-2	木製扉	750×2,000
	WD-15	木製扉	600×1,800
	ガラス : 網入りガラス t=6.8		
	木製扉 : 木製枠 100×40		

(アスベスト含有・含有懸念建材)		(A・B各ゾーン)
斜 路 :	(床)	長尺塩ビシート t=3.5 (※2 : 18.0㎡)
	(巾木)	ソフト巾木 H=70 (※2 : 10.0㎡)
	(天井)	岩綿吸音板 t=12 (※1 : 18.0㎡)
便 所 :	(床)	長尺塩ビシート t=2.0 (※2 : 10.0㎡)
	(巾木)	ソフト巾木 H=70 (※2 : )
	(天井)	ケイ酸カルシウム板 t=6 (※2 : 10.0㎡)
廊 下 :	(天井)	岩綿吸音板 t=12 (※2 : 図示)
	(※1 : アスベスト含有建材) (※2 : アスベスト含有懸念建材)	
・上記建材の撤去は、飛散防止養生又は隔離養生の上撤去を行うこと		

(解体工事前仮設壁 他)		(A・B各ゾーン)	
A-1・2、B-1・2		LGS下地 GB-D 12.5 + GB-R 9.5 (片面) (GW ボード 24K t=50 内張り)	
A-3・4、B-3・4		仮設足場 + 防音パネル	
躯体切断部処理		樹脂モルタル成形補修仕上(t=30)	
鉄筋切断部処理		錆止め塗装補修	

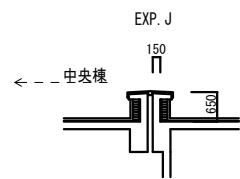




R D : 横引き 100φ  
D P : 100φ 白ガス管 SOP塗装

--- 解体工事範囲  
■■■■ 解体撤去部分

(パラベットの配筋)  
縦・横 D10@200 チドリダブル  
天端補強筋 3-D13



(鋼製避難通路 他) (Bゾーン)

ササラ桁 : 溝形鋼 200×90×80  
床版 : 鋼鋼板 t=4.5  
手摺 : 鋼管 42φ H=900  
支柱 : 角鋼管 150×150×6

屋根防水仕様 : 押さえコンクリート t=80  
アスファルト防水層  
発泡ウレタン t=18  
笠木 (W=400) : モルタル金鍍 + 吹付タイル (H=650)

(アスベスト含有・含有懸念建材) (A・B各ゾーン)

防水層 : アスファルト防水 (※2 : 33.0㎡)  
(+ 押さえコンクリート)

(※1 : アスベスト含有建材) (※2 : アスベスト含有懸念建材)  
・上記建材の撤去は、飛散防止養生又は隔離養生の上撤去を行うこと

(解体工事前仮設壁 他) (A・B各ゾーン)

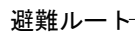
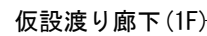
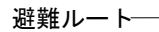
A-、B- : 仮設足場 + 防音パネル

躯体切断部処理 : 樹脂モルタル成形補修仕上げ(t=30)  
鉄筋切断部処理 : 錆止め塗装補修

Exp. J笠木部処理 : S-Plt=2.3曲げ加工 (熔融亜鉛メッキ) 笠木を新設 (W=400 L=6,600) × 2ヶ所

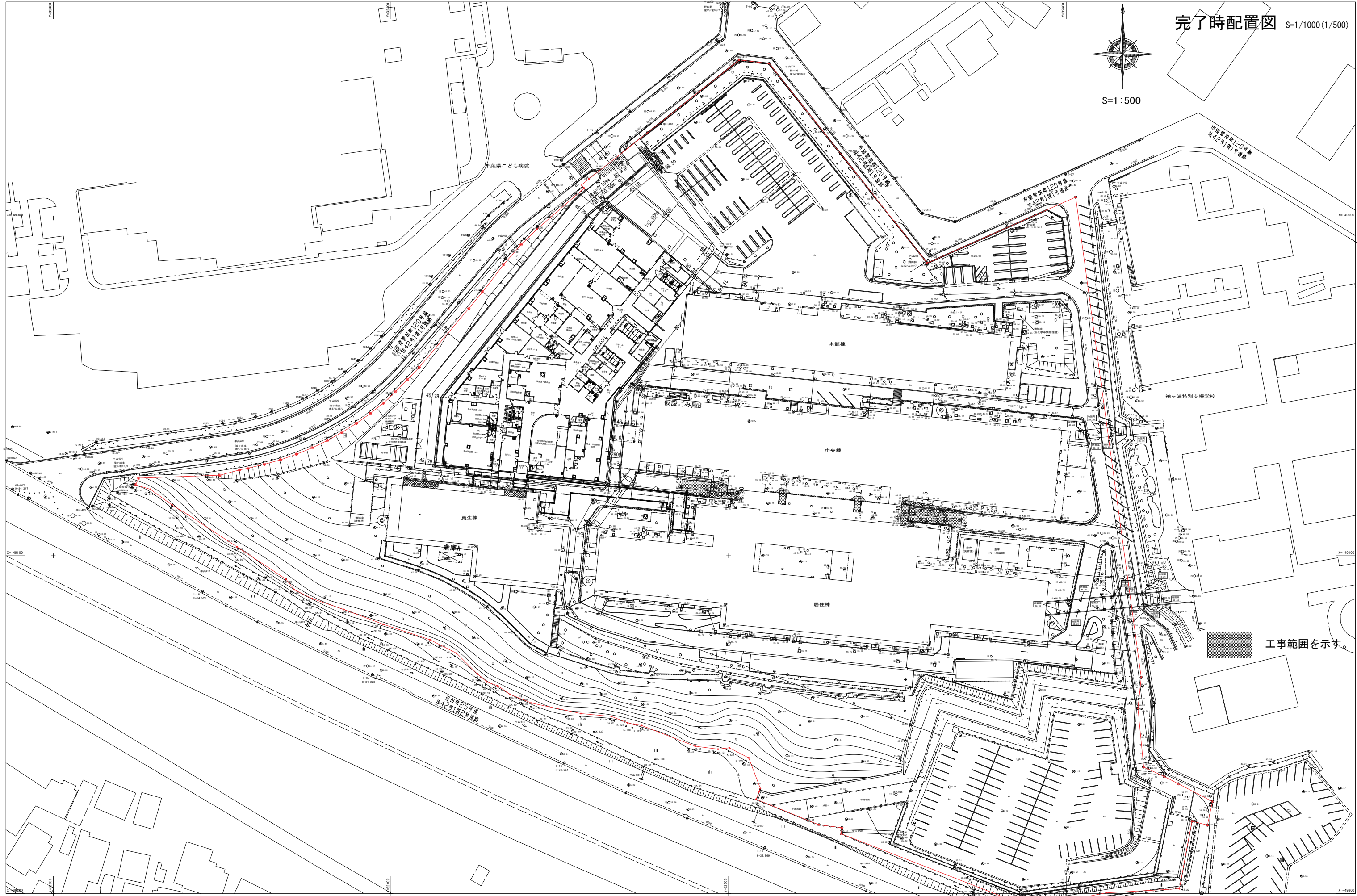
## 2027年（R9年）4月～2027年（R9年）5月末

※ STEP1-5完成時に上記仮設材全て撤去すること。



※局所的な工事については、監督員と協議の上、適切に安全に配慮すること





完了時配置図 S=1/1000 (1/500)

S=1:500

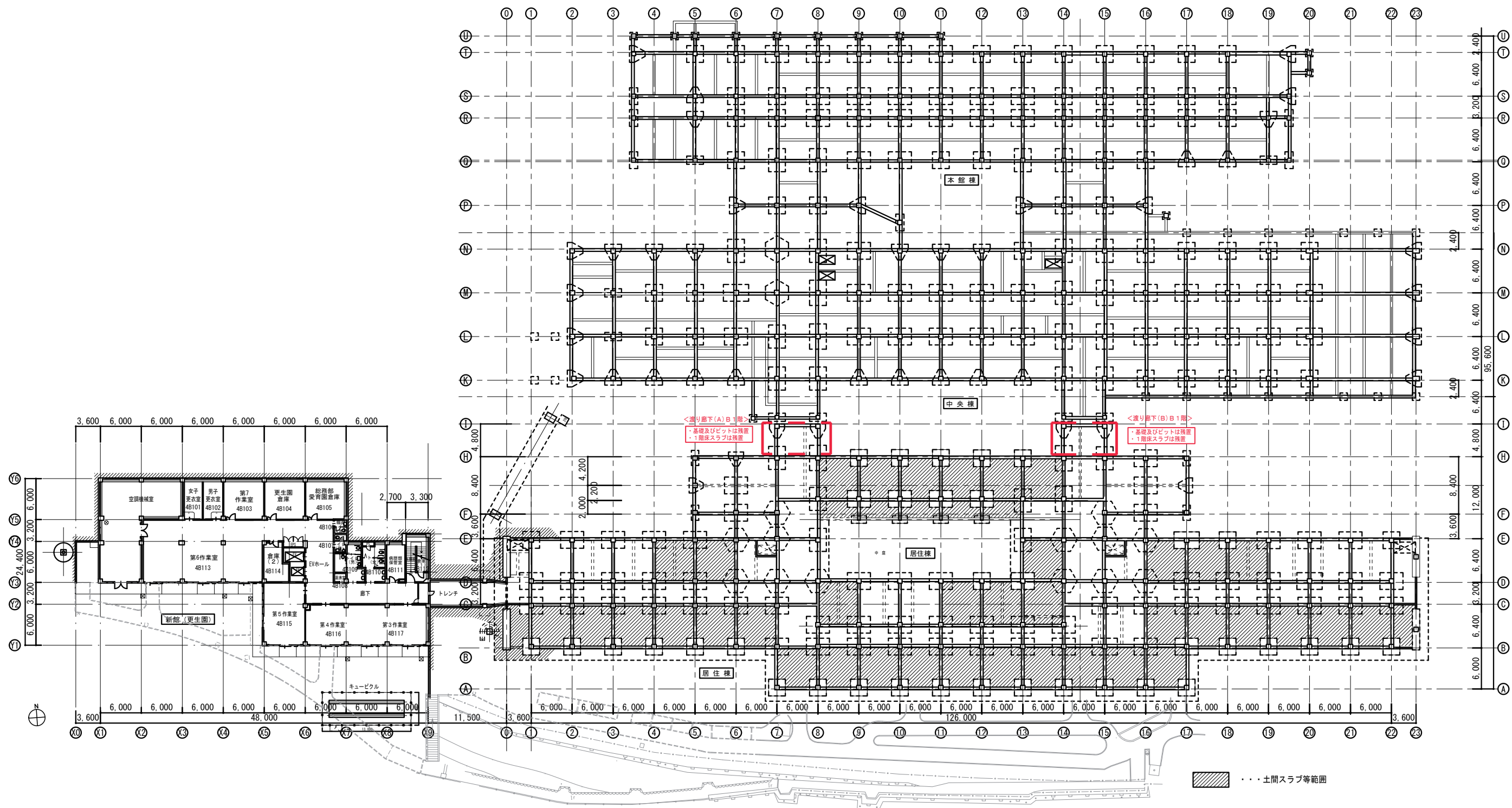
工事範囲を示す。

資格/番号	記名	捺印	製 図	検 図	納品検査	訂正
一般建築士 第249530号	柴田 浩		古川 2023. 3. 12	宮本 2023. 3. 14	大植 2023. 3. 14	
一般建築士 第337950号	堀江 伸		兼松 2023. 3. 12			

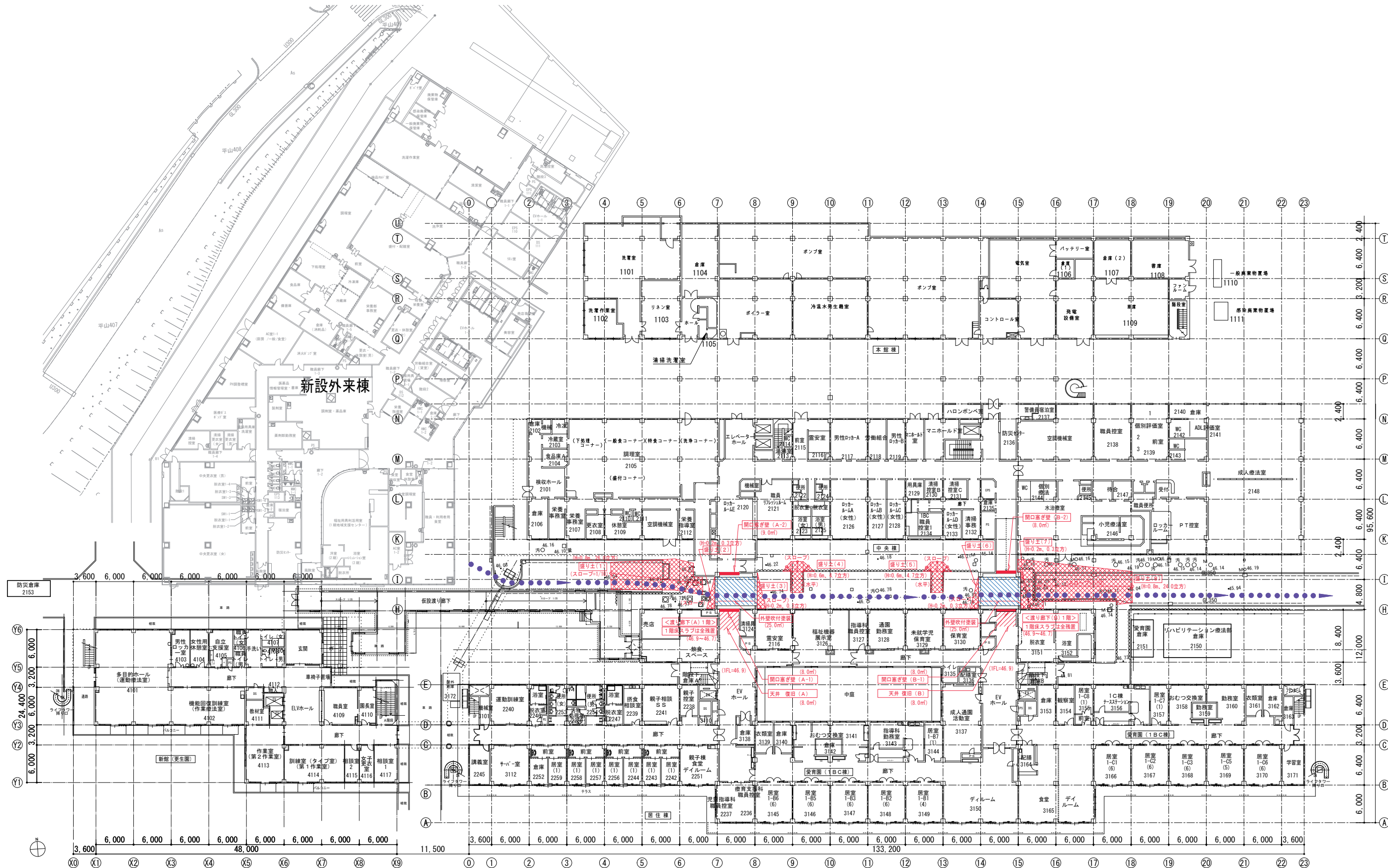
特記

図面内容
既存渡り廊下部分解体工事 完了時配置図
縮尺 A1:1/500 A3:1/1000

図面番号
A1-5-008
区分 建築意匠図







(開口塞ぎ壁他)

A-1、B-1 : (外壁側) ALC版(縦張) t=120 + 断熱材(Fu)吹付 t=50  
OW-4、既存取合いは変成シリコンシーリング20×10  
(内壁側) LGS下地 GB-R 12.5+12.5 EP-2塗装

A-2、B-2 : 万能鋼板(フラットパネル、単管下地)

解体部分外壁 : (OW-4) 防水系複層塗材E  
+ 低汚染型水性フッ素樹脂塗装仕上げ

廊下天井材 : 岩綿吸音板 t=12.5 (GB-Rt=9.5捨貼)

A-1、A-2、B-1、B-2施工範囲 : 枠組足場W900(存置期間1ヵ月)を見込む

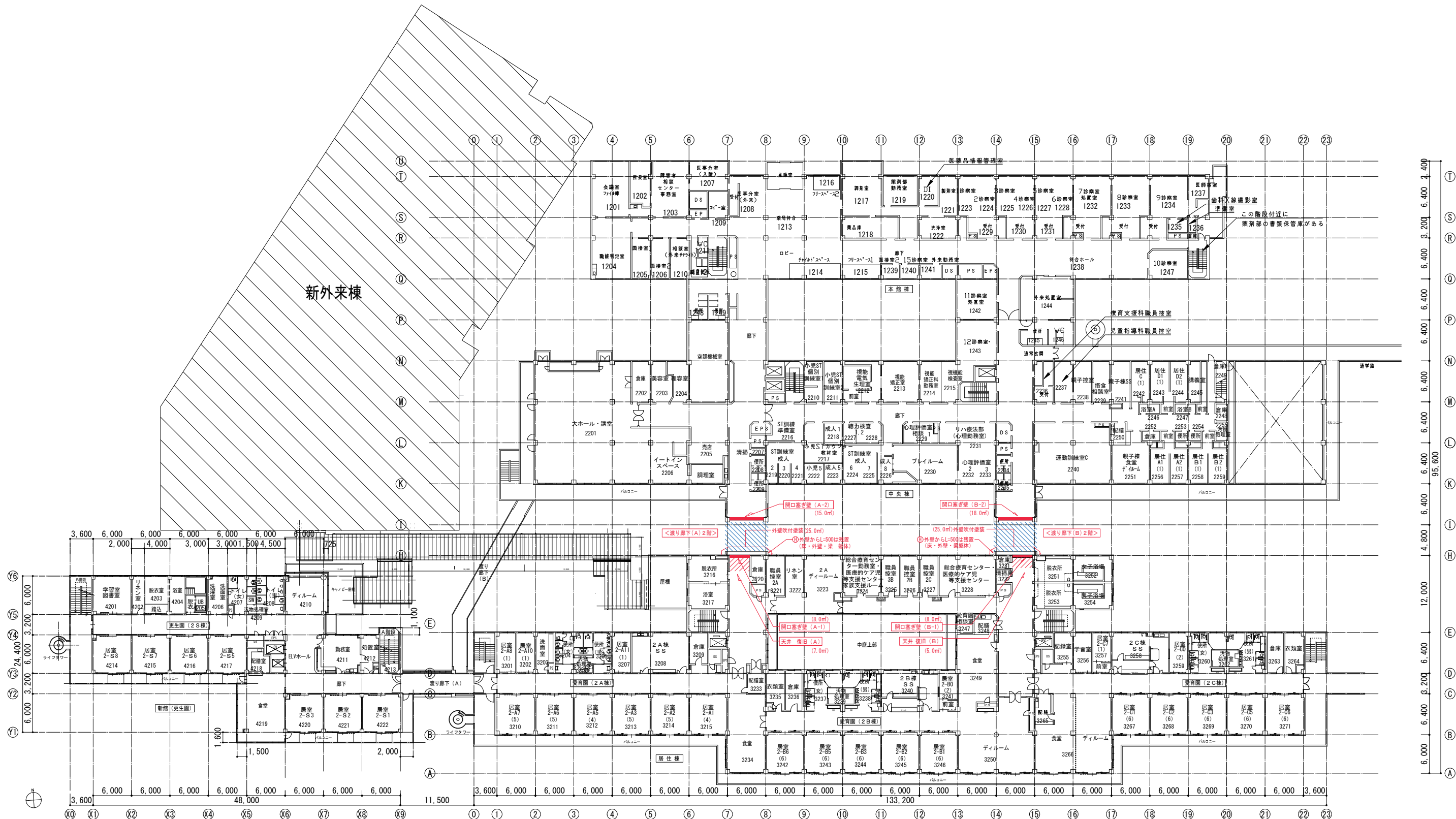
・・・段差解消盛り土部分(搬入土)

・・・解体撤去部分(解体後の両壁面に作業用枠組み足場を設ける)(設置期間: 解体後 2ヶ月間)

※ 解体工事部分は、外来診療棟からの避難ルートを確認する。

※ 解体工事用車両の通行ルートを確認為に、工事進行に合わせ段差解消のすり付け・盛り土等で適宜対応をする。

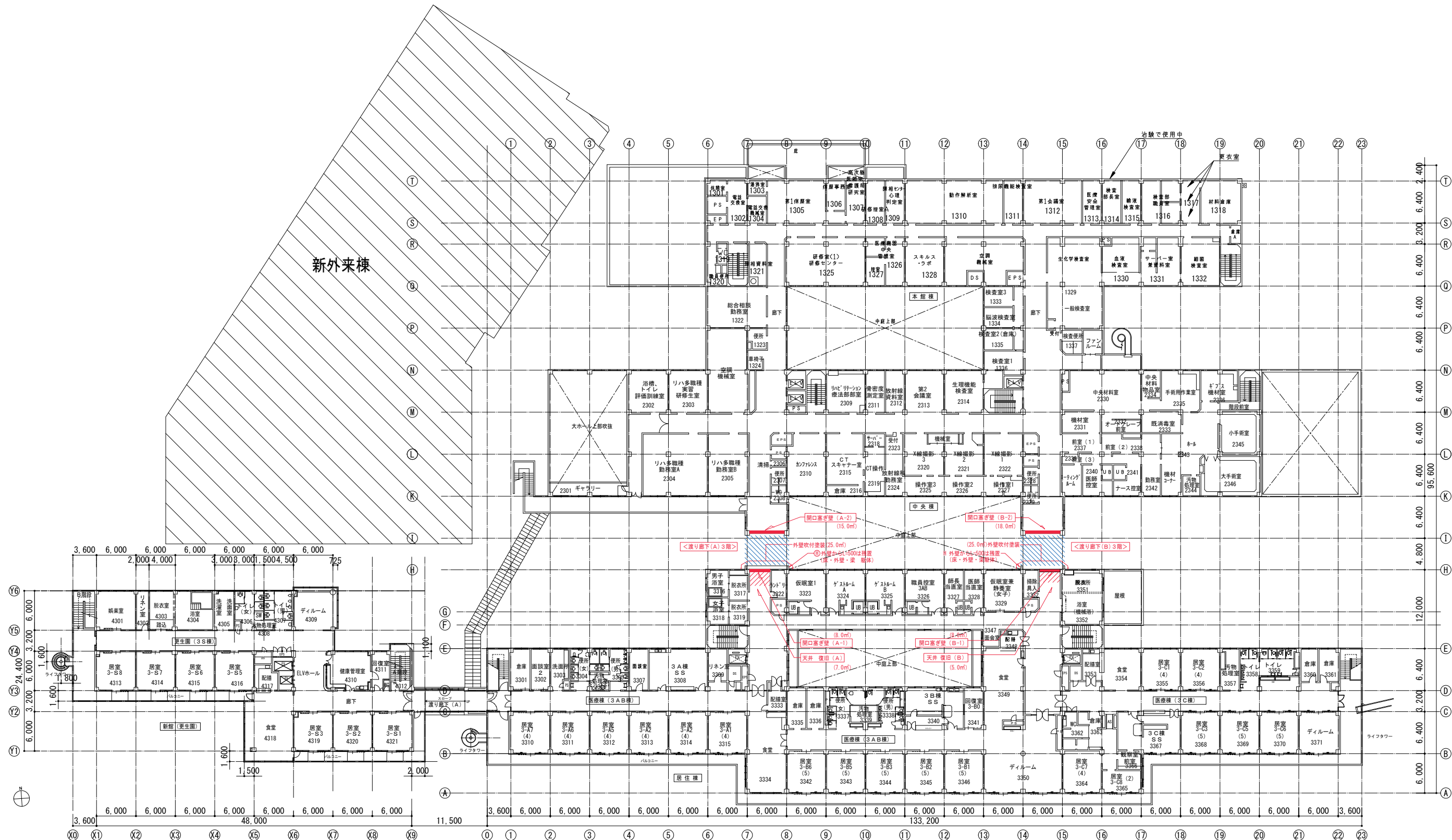
※ Fu: 現場発泡ウレタンフォームA種 1H



(開口塞ぎ壁他)  
A-1、B-1 : (外壁側) ALC版(縦張) t=120 + 断熱材(Fu)吹付 t=50  
OW-4、既存取合いは変成シリコン系シーリング20×10  
(内壁側) LGS下地 GB-R 12.5×12.5 EP-2塗装  
A-2、B-2 : 万能鋼板(フラットパネル、単管下地)  
解体部分外壁 : (OW-4) 防水系複層塗材E  
+ 低汚染型水性フッ素樹脂塗装仕上げ  
廊下天井材 : 岩棉吸音板 t=12.5 (GB-R t=9.5捨貼)  
A-1、A-2、B-1、B-2施工範囲 : 枠組足場W900(存置期間1ヵ月)を見込む

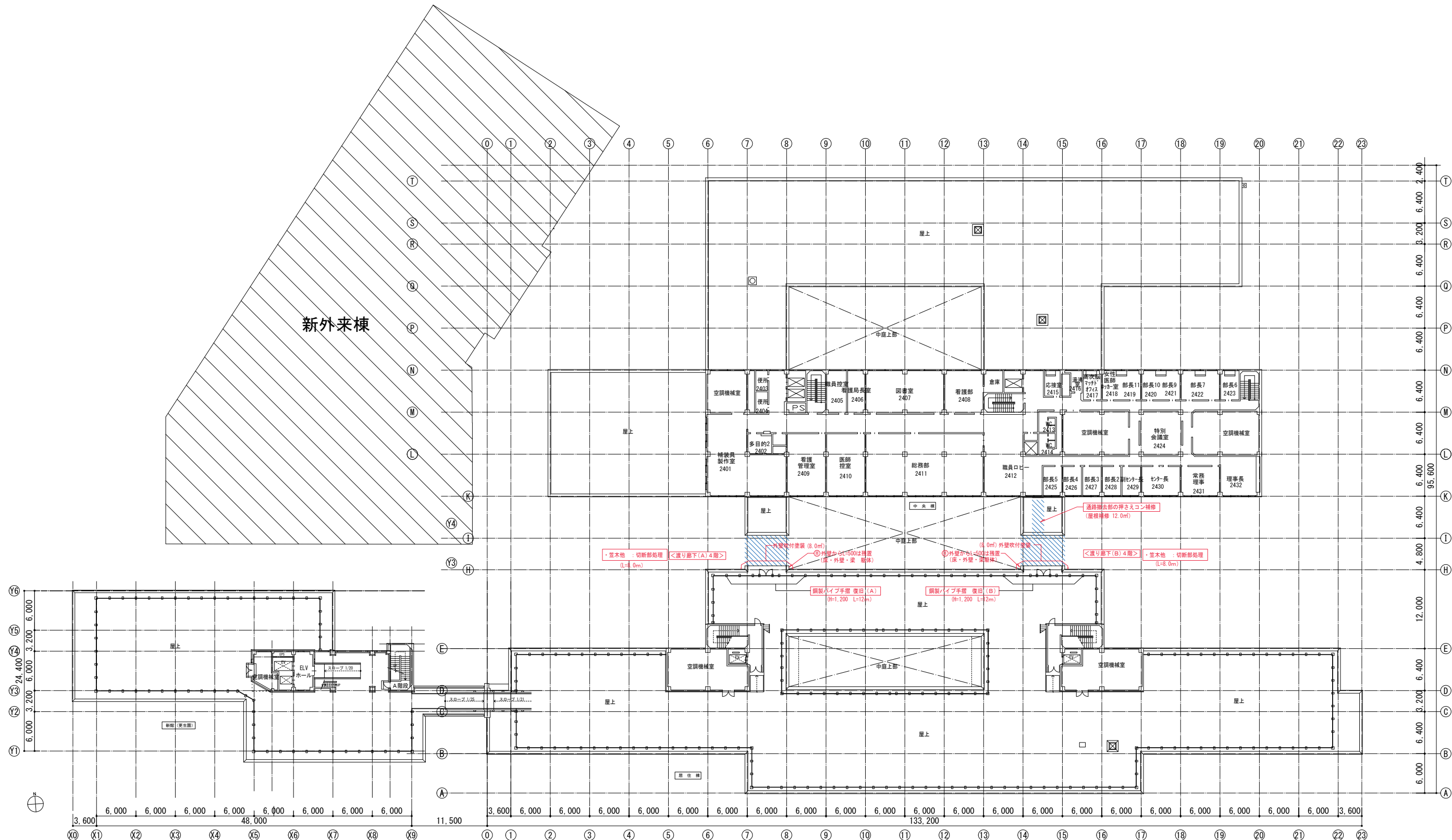
・・・解体撤去部分  
(解体後の両壁面に作業用枠組み足場を設ける)  
(設置期間: 解体後 2ヶ月間)





(開口差ぎ壁他)  
A-1、B-1 : (外壁側) ALC版 (縦張) t=120 + 断熱材吹付 t=50  
OW-4、既存取合いは変成シリコン系シーリング20×10  
(内壁側) LGS下地 GB-R 12.5+12.5 EP-2塗装  
A-2、B-2 : 万能鋼板 (フラットパネル、単管下地)  
解体部分外壁 : (OW-4) 防水系複層塗材E  
+ 低汚染型水性フッ素樹脂塗装仕上げ  
廊下天井材 : 岩綿吸音板 t=12.5 (GB-R t=9.5捨貼)  
A-1、A-2、B-1、B-2施工範囲 : 枠組足場W900 (存置期間1カ月) を見込む

・・・解体撤去部分  
(解体後の両壁面に作業用枠組み足場を設ける)  
(設置期間 : 解体後 2ヶ月間)



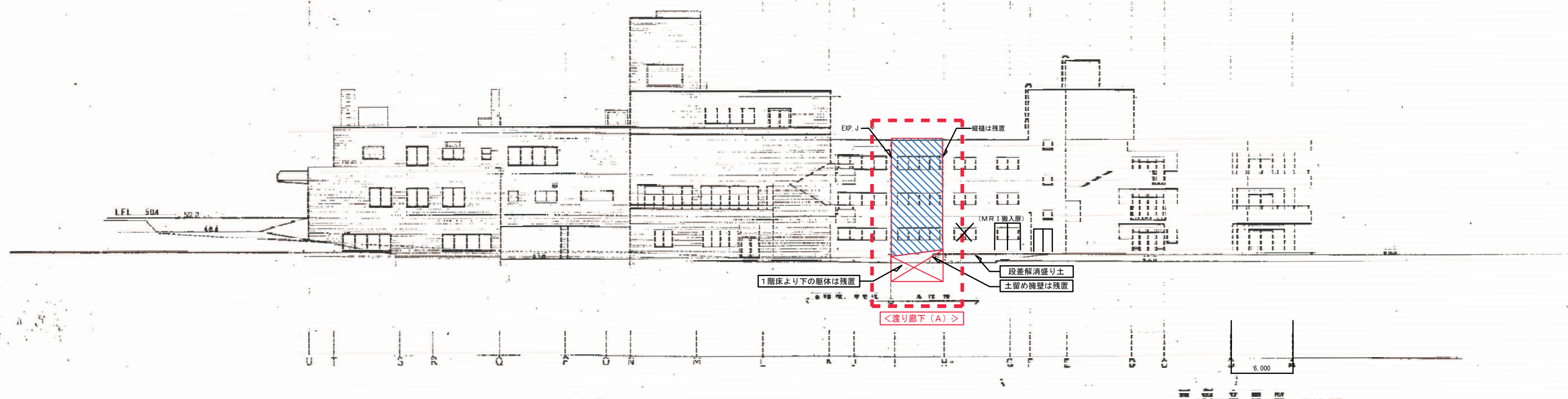
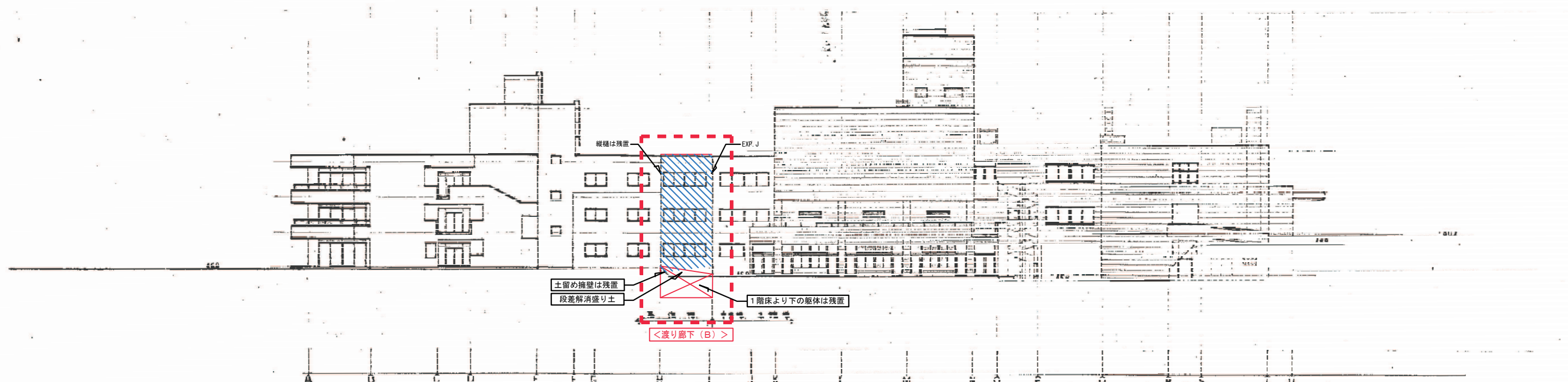
(解体 工事関連)

- 躯体切断部処理 : 樹脂モルタル成形補修仕上  
鉄筋切断部処理 : 錆止め塗装補修  
防水切断部処理 : 押え金物 + シール 止水対策  
笠木切断部処理 : 補修金物 + シール 止水対策  
EXP. J笠木部処理 : 補修金物 + シール 止水対策  
解体部分外壁 : (OW-4) 防水系複層塗材E  
+ 低汚染型水性フッ素樹脂塗装仕上

・・・解体撤去部分  
(解体後の両壁面に作業用枠組み足場を設ける)  
(設置期間: 解体後 2ヶ月間)

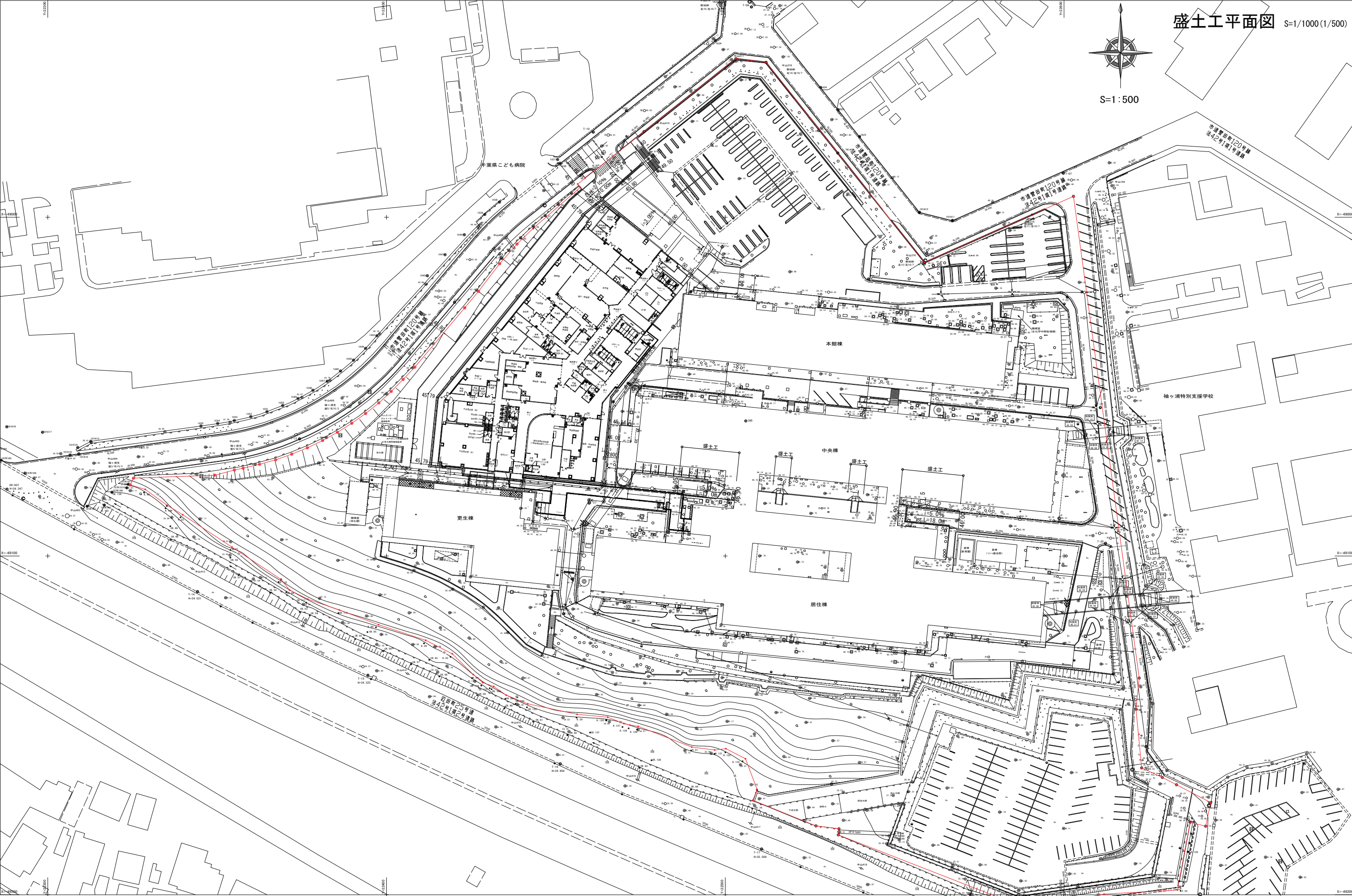
・左記の 押さえ金物・補修金物は  
SUS t=0.6 曲げ加工 15×30  
+ 変成シリコン計シーリング 20×10











盛土工平面図 S=1/1000 (1/500)

S=1:500

<div></div> <div>株式会社 山下設計 YAMASHITA SEKKEI INC. ARCHITECTS, ENGINEERS &amp; CONSULTANTS</div>		資格/番号	記名	捺印	製 図	検 図	納品検査	訂正	特記		図面内容	図面番号	
	代 表 設計者	一級建築士 第249530号	柴田 浩		古川	宮本	大植					既存渡り廊下部分解体工事 盛土工平面図	A1-5-101
	担 当 設計者	一級建築士 第337950号	堀江 伸		兼松							縮尺	A1:1/500 A3:1/1000